

**5.9K フルサイズセンサーと新開発の映像処理プラットフォームを搭載
拡張性に優れたデジタルシネマカメラ “EOS C500 Mark II” を発売**

キヤノンは、映像制作機器 CINEMA EOS SYSTEM の新製品として、デジタルシネマカメラ “EOS C500 Mark II” を 2019 年 12 月下旬より発売します。



EOS C500 Mark II
* 「CN-E85mm T1.3 L F」装着時

新製品は、5.9K フルサイズセンサーと新開発の映像処理プラットフォームを搭載したデジタルシネマカメラです。ユーザーが撮影現場に応じて自由にカスタマイズできるモジュールデザインを採用しているため、拡張性に優れており、高品位な映像が求められる映画やドラマから、機動力が重視されるニュースやドキュメンタリーまで、幅広い映像コンテンツの制作に対応します。

■ 小型・軽量ながら 5.9K フルサイズセンサーによる高画質を実現

新製品は小型・軽量ながら、5.9K フルサイズセンサーを搭載しており、最大で 15+ストップの^{※1}広いダイナミックレンジの実現により、明暗差の大きい環境でも、高画質な映像を撮影することが可能です。また、高速処理が可能な新開発の映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 7」の搭載により、5.9K RAW / 60P および 4K / 60P 記録を実現しているほか、2K / 120P 記録が可能です。

■ CFexpress Type B カードへの対応などにより快適なワークフローを実現

映像の情報量を維持しながらデータサイズを軽くすることができるビデオフォーマット「Cinema RAW Light」を採用しており、外部レコーダーを使用せずに RAW データを本体内部に記録することが可能です。また、動画データを圧縮し効率的に記録する「XF-AVC」に対応しています。記録メディアは、キヤノンのビデオカメラとして初めて CFexpress Type B カードと、UHS-II 規格の SD カードを使用できます^{※2}。HDR 方式は、放送やライブ配信に適した「HLG (Hybrid Log-Gamma)」と映画制作やネット配信に適した「PQ (Perceptual Quantization)」に対応しています。

■ さまざまな撮影スタイルに対応できる優れた拡張性を提供

別売りのマウントキットを使用することで、撮影環境に合わせてユーザー自身で EF マウントから、EF シネマロックマウントまたは PL マウントに交換することが可能です。また、別売りの拡張ユニットを装着することで、複数台のカメラによる撮影や遠隔操作が必要なドローン撮影など、さまざまな撮影スタイルに対応できます。

製品名	希望小売価格	発売日
EOS C500 Mark II	オープン価格	2019年12月下旬

※1 ストップとは、ダイナミックレンジを表す単位。1 ストップ上がると、撮影が可能な明るさの範囲が倍になります。最大ストップ数は記録モードにより異なります。

※2 「Cinema RAW Light」は、CFexpress Type B カードにのみ記録可能。

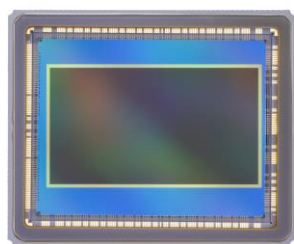
● 一般の方のお問い合わせ先：キヤノンお客様相談センター 050-555-90006

● CINEMA EOS SYSTEM ホームページ：canon.jp/cinema-eos

<主な特長>

1. 小型・軽量ながら 5.9K フルサイズセンサーによる高画質を実現

- ・最大 5.9K (5952×3140 画素) の映像を記録可能な 38.1mm×20.1mm のフルサイズセンサーを搭載。最大で 15+ストップの広いダイナミックレンジの実現により、明暗差の大きい環境でも、高画質な映像を撮影することが可能。また、ITU-R BT.2020*を上回る広い色域を実現。
- ・高速処理が可能な新開発の映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 7」の搭載により、5.9K RAW/60P および 4K/60P 記録を実現しているほか、2K/120P 記録も可能。
- ・本体寸法約 153mm (幅) ×148mm (高さ) ×168mm (奥行き)、本体質量は約 1,750g と小型・軽量を実現。
- ・動画撮影に適した滑らかな AF 動作と高い追従性を持つ「デュアルピクセル CMOS AF」により、厳しい合焦精度が求められる撮影時でも、撮影スタイルに合わせて高精度なピント調整が可能。



5.9K フルサイズ CMOS センサー



新開発の映像処理プラットフォーム
「DIGIC DV 7」

※ ITU (国際電気通信連合) が提唱する、UHD (Ultra HD) 放送の国際標準規格。

2. CFexpress Type B カードへの対応などにより快適なワークフローを実現

- ・映像の情報量を維持しながらデータサイズを軽くすることができるビデオフォーマット「Cinema RAW Light」を採用しているため、外部レコーダーを使用せずに RAW データを本体内部に記録することが可能。
- ・動画データを圧縮し効率的に記録する「XF-AVC」にも対応し、編集作業の効率化をサポート。
- ・記録メディアは、キヤノンのビデオカメラとして初めて CFexpress Type B カードと、SD カードの UHS-II 規格に対応。
- ・CFexpress Type B カードスロットを 2 基搭載することにより、2 枚の記録メディアに RAW データを同時記録することができ、データのバックアップや受け渡しに有効。さらに、同時に SD カード (1 枚) に Proxy データを記録することも可能。
- ・HDR 方式は、放送やライブ配信に適した「HLG (Hybrid Log-Gamma)」と映画制作やネット配信に適した「PQ (Perceptual Quantization)」に対応。
- ・キヤノン独自の Log ガンマ「Canon Log 2」「Canon Log 3」を搭載。撮影後のカラーグレーディングで画質の作りこみを行うことを重視した「Canon Log 2」と、階調を整える程度の簡易なカラーグレーディングを可能にする「Canon Log 3」を備えることで、映像制作の意図に応じて最適な Log ガンマを選択可能。

3. さまざまな撮影スタイルに対応できる拡張性を提供

- ・別売りのマウントキットを使用することで、撮影環境や目的に合わせてユーザー自身で EF シネマロックマウントまたは PL マウントに交換することが可能。サービス店への持ち込みが不要となり、映像表現や撮影目的に合わせた柔軟な撮影システムの構築をサポート。
- ・別売りの拡張ユニットを装着することで、複数台のカメラによる撮影や遠隔操作が必要なドローン撮影など、さまざまな撮影スタイルに対応。

＜別売りアクセサリ＞

【EF シネマロックマウントキット “CM-V1” / PL マウントキット “PM-V1”】

- ・六角ボルト 4 本を取り外すことで、ユーザーが自身でマウントを変更でき、映像表現や撮影目的に合わせたマウントの選択が可能。



CM-V1



PM-V1

【有機 EL 電子ビューファインダー “EVF-V50”】

- ・視認性に優れた 0.46 型有機 EL ビューファインダーユニット。
ドキュメンタリー撮影や屋外での取材などの単独撮影に好適。



EVF-V50

【拡張ユニット 1 “EU-V1”】

- ・REMOTE B (RS-422) 端子や Ethernet 端子などの接続端子を拡張するユニット。カメラの遠隔操作を可能にし、複数台のカメラを用いた撮影や、ジンバル、クレーン、ドローンなどの特機撮影に好適。



EU-V1

【拡張ユニット 2 “EU-V2”】

- ・豊富な入出力端子の拡張と市販の V マウントバッテリーの装備を可能にするユニット。LENS 端子に接続した CINE-SERVO レンズなどをカメラから制御することも可能。



EU-V2

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
CM-V1	28 万 5,000 円	2019 年 12 月下旬
PM-V1	20 万 0,000 円	
EVF-V50	8 万 6,000 円	
EU-V1	6 万 2,000 円	
EU-V2	20 万 0,000 円	

＜ご参考＞

2019 年 9 月 13 日（金）から 17 日（火）までオランダ・アムステルダムで開催される国際放送機器展「IBC 2019」のキヤノンブースにおいて、“EOS C500 Mark II”を展示します。

＜映像制作機器の市場動向＞

映像制作業界のデジタル化に伴い、映画などの制作現場で 4K 映像への対応が急速に進むと同時に、放送業界でも 4K 放送の実用化に向けた取り組みが各国で始まっています。入力から出力まで、映像制作ワークフローの 4K 化が進むことにより、機材が高精細・高画質であることはもちろん、高解像度化するほど難しくなるピント合わせや、多様化する撮影スタイルにも応える操作性や運用性を兼ね備えたカメラへのニーズが増えています。また、特に映像制作業界においては、美しいボケ味を生かした映像表現を実現するフルサイズセンサー搭載カメラの需要が高まっています。（キヤノン調べ）

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

* V-Mountは、(株)アイ・ディー・エクス登録商標です。